

地球惑星科学委員会地球惑星科学社会貢献分科会（第26期・第5回）議事要旨

日 時：令和6年12月27日（金）15：00～17：35

会 場：オンライン会議（ZOOM）

出 席：

（委員）佐竹健治、森口祐一、薮田ひかる、稲葉俊哉、臼田裕一郎、江守正多、大久保泰邦、片岡香子、唐沢かおり、川幡穂高、佐藤薫、鈴木康弘、関村直人、関谷直也、高橋桂子、中村尚、新野宏、藤井良一、益田晴恵、谷田貝亜紀代、山岡耕春、山口紀子、横山広美、渡邊誠一郎

（オブザーバー）沖大幹、平田直

欠 席（5名）：川口慎介、標葉隆馬、谷本浩志、原田尚美、山本佳世子

記録：片岡香子

議題

（1）放射線物質拡散予測の利活用（前期の見解）の発展

- ・ 前期の見解に関する原子力規制庁との意見交換について（12月19日の報告） 山岡委員（資料3）
- ・ 原子力総合シンポジウム2024について（1月20日シンポジウムの予告） 森口委員（資料4）
- ・ 大気降下物由来の放射性セシウムによる作物汚染 山口委員（資料5）
- ・ 質疑・議論

（2）危機における学術からの情報発信の仕組みに関して

- ・ 南海トラフ地震情報の背景と2024年8月8日の情報について 平田直 連携会員（資料6）
- ・ 南海トラフ地震臨時情報の課題—メッセージのあいまいさとエリートパニック— 関谷委員（資料7）
- ・ 質疑・議論

（3）その他

配布資料

資料1 地球惑星科学社会貢献分科会（第26期第3回）議事要旨

資料2 前期（第25期）見解のフォローアップレポート

資料3 山岡委員資料（原子力規制委員との意見交換）

資料4 森口委員資料（原子力総合シンポジウム2024）

資料5 山口委員資料

資料6 平田連携会員資料

資料7 関谷委員資料

議事要旨

議事に先立ち、佐竹委員長から前回の議事要旨の報告があり、確認を行った。また、今回の全体の概要説明がなされた。続いて、佐竹委員長から、資料2に基づき、見解「より強靱な原子力災害対策に向けたアカデミアからの提案 — 放射性物質拡散予測 の積極的な利活用を推進すべき時期に來たと考えます」 フォローアップレポートについての報告がなされた。

(1) 放射線物質拡散予測の利活用（前期の見解）の発展

- ・ 山岡委員より、資料3に基づき原子力規制委員として、前期の見解に関する原子力規制庁との意見交換について（12月19日の報告）の説明と報告があった。それに対して、複数の委員からコメントや意見が出された。
- ・ 森口委員より、資料4に基づき、2025年1月20日に開催される「原子力総合シンポジウム2024」の講演者や講演内容について予告がなされた。
- ・ 山口委員より、資料5に基づき、「大気降下物由来の放射性セシウムによる作物汚染」について話題提供があった。それに対して、複数の委員からコメントや質問が出された。

(2) 危機における学術からの情報発信の仕組みに関して

- ・ 平田直連携会員から、資料6に基づき、「南海トラフ地震情報の背景と2024年8月8日の情報」について話題提供があった。
- ・ 関谷委員より、資料7に基づき、「南海トラフ地震臨時情報の課題—メッセージのあいまいさとエリートパニック—」に関して話題提供があった。
- ・ 上記の話題提供の後、複数の委員からコメントや質問が出された。

(3) その他

佐竹委員長より、放射性物質の汚染や南海トラフ地震臨時情報、将来的には気候変動などの話題も含め、社会との対応や関係を今後も議論していきたいことが述べられた。また、「意思の表出」を提出する時期や内容について、意見があれば委員長宛に知らせる事とした。

以上